

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年2月9日～2月13日)

発表日: 2009年2月6日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(2月9日～2月13日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月9日 (月)	8:50 12月機械受注 船電除く民需 (前月比)	▲10.8%	▲8.6%	▲15.3%～▲0.6%	▲16.2%
	(前年比)	▲33.6%	▲33.0%	▲37.0%～▲26.0%	▲27.7%
	8:50 12月国際収支 経常黒字(前年比)	▲81.2%	—	—	▲65.9%
	(原数値)	2,993 億円	3,200 億円	1,506 億円～8,250 億円	5,812 億円
	8:50 1月マネーストック M2(前年比)	+1.8%	+1.8%	+1.7%～+1.9%	+1.8%
	M3(前年比)	+0.8%	+0.8%	+0.7%～+0.9%	+0.8%
	広義流動性(前年比)	▲0.3%	▲0.3%	▲0.4%～▲0.2%	▲0.3%
2月10日 (火)	8:50 1月貸出・資金吸収動向	—	—	—	+4.6%
	国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	15.9
	14:00 1月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	—
2月11日 (水)	建国記念の日				
2月12日 (木)	8:50 1月企業物価指数 (前月比)	▲0.4%	▲0.6%	▲1.1%～+0.2%	▲1.2%
	(前年比)	+0.5%	+0.3%	▲0.3%～+1.0%	+1.1%
2月13日 (金)	13:30 12月商業販売統計・確報 小売業販売額(前年比)	—	—	—	▲2.7%

(注) 市場予測はBloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

12月機械受注・船舶電力除く民需 (前月比) 当社予想: 前月比 ▲10.8% 中央値: 同 ▲8.6%

12月の機械受注(船舶・電力除く民需)は、前月比▲10.8%と3ヵ月連続の減少を予想する。関連統計をみると、12月の工作機械受注(内需)は前年比▲73.8%(11月: 同▲60.5%)、半導体製造装置受注は同▲83.4%(11月: 同▲71.5%)とともに減少率が拡大している。予測通りであれば、10-12月期の機械受注は▲19.1%と過去最大の落ち込みとなる。鉱工業生産など各種統計の大幅な悪化などを踏まえると、同時に公表される1-3月の内閣府見通しも弱い結果が予想されよう。機械受注の大幅な落ち込みが示す通り、当面の設備投資は減少ペースが加速していくと考えられる。(副主任エコノミスト: 齋藤 俊輔)

12月国際収支・経常収支 (原数値) 当社予想: 2993 億円 中央値: 3200 億円

12月の経常黒字額は2993億円(前年比▲81.2%)を予想する。所得収支については、海外子会社の業績悪化・金利の低下・円高などから黒字幅の縮小が予想される。また、すでに発表された貿易統計では、輸入は前年比▲21.5%と国内需要の減少や原油価格の下落を受けてマイナスとなったが、輸出が世界的な景気後退や円高の進行から前年比▲35.0%と大きく落ち込んだ結果、3ヶ月連続での貿易赤字となった。サービス収支に関しても、訪日外客数の減少などマイナス要因が多い。経常収支は10ヵ月連続での前年割れとなりそうだ。(エコノミスト: 岩田 陽之助)

1月企業物価指数・国内企業物価 (前年比) 当社予想: 前年比 +0.5% 中央値: 同 +0.3%

1月の国内企業物価は前月比▲0.4%、前年比+0.5%を予想する。金融市場の混乱や世界経済の急減速など

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

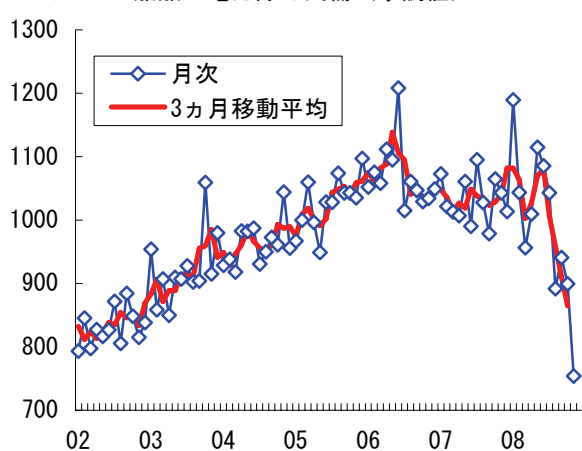
を背景にした原材料価格の急落から、これまで3ヶ月連続で前月比1%を超えるマイナスとなっていたが、原油、非鉄金属などの先物価格が下げ止まってきたこと、電気、ガス料金では、過去の燃料費上昇分を調整するために値上げがなされたことなどから、マイナス幅は縮小する見込みである。内訳をみると、石油・石炭製品、鉄鋼、化学製品、非鉄金属がマイナスに寄与し、電力・都市ガス・水道がプラスに寄与したと考えられる。

先行きについて、先物価格が下げ止まってきたことから、石油・石炭製品、非鉄金属の値動きは小幅なものにとどまると思われる。一方で、化学製品、鉄鋼、小麦、電気料金などでは今後大幅な値下げがなされる可能性が高く、国内企業物価は引き続き下落基調を維持しよう。国内企業物価は2月に前年比でマイナスに転化し、夏場にかけてマイナス幅を拡大させていく見込みだ。（エコノミスト：中本 泰輔）

以上

図表 1

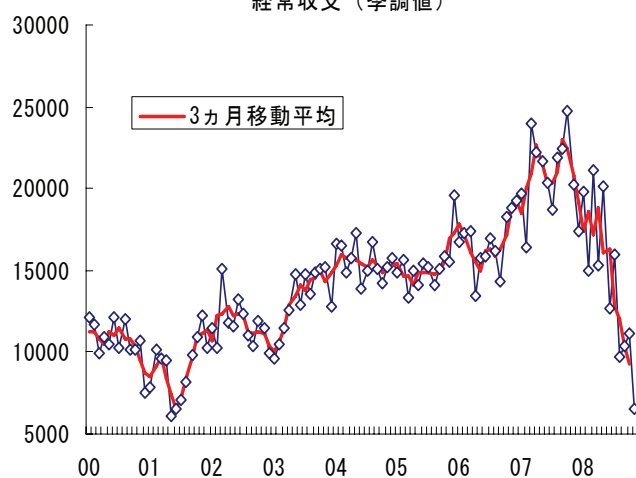
(10億円) 船舶・電力除く民需 (季調値)



(出所) 内閣府「機械受注統計」

図表 2

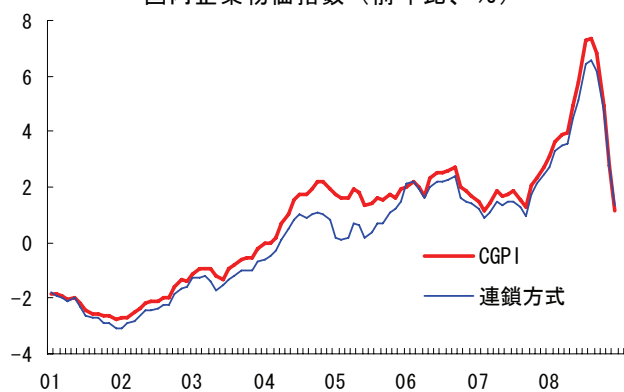
経常収支 (季調値)



(出所) 財務省

図表 3

国内企業物価指数 (前年比、%)



(出所) 日本銀行「企業物価指数」

2月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2/2 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) (米)12月個人所得・消費 (米)1月ISM製造業指数 (米)12月建設支出 (米)1月ネット求人広告指数 (韓)1月貿易統計 (韓)1月消費者物価 (尼)12月貿易統計 (印)12月貿易統計 (南ア)製造業PMI (香)12月小売売上高	3 1月マネタリーベース(8:50) 12月毎月勤労統計(10:30) 12月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)12月中古住宅販売保留 (米)1月自動車販売 (欧)12月生産者物価 (豪)12月貿易統計 (豪)金融政策委員会 (伯)12月鉱工業生産	4 (米)1月ISM非製造業指数 (欧)12月小売売上高 (豪)12月小売売上高	5 水野日銀審議委員挨拶 (米)12月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (新)10-12月雇用統計 (台)1月消費者物価	6 12月景気動向指数(14:00) (米)1月雇用統計 (独)12月鉱工業生産
9 12月機械受注統計(8:50) 12月国際収支(8:50) 1月マネーストック(8:50) 1月貸出・資金吸収(8:50) 1月景気ウォッチャー調査(14:00)	10 12月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 1月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)12月卸売在庫 (仏)12月鉱工業生産 (中)1月貿易統計 (中)1月生産者物価	11 (米)12月貿易収支 (独)1月消費者物価(確) (中)1月消費者物価 (馬)12月鉱工業生産	12 1月企業物価(8:50) (米)1月小売売上高 (米)12月企業在庫 (欧)12月鉱工業生産 (中)1月小売売上高 (豪)1月雇用統計 (馬)12月貿易統計 (印)12月鉱工業生産	13 12月商業販売統計・確(13:30) (米)2月シカン大消費者センチ(速) (欧)10-12月期実質GDP(速) (独)10-12月期実質GDP(速) (仏)10-12月期実質GDP(速) (中)1月鉱工業生産 (星)12月小売売上高 ※(尼)10-12月実質GDP
16 1月投入・産出物価指数(8:50) 10-12月期GDP1次速報(8:50) 12月鉱工業指数・確(13:30) ※2月月例経済報告 (中)1月固定資産投資	17 2月ロイター短観(8:30) 12月第3次産業活動指数(8:50) 12月建設総合統計(14:00) 40年利付国債 (米)2月NAHB住宅市場指数 (米)2月NY連銀製造業指数 (欧)12月貿易収支 (香)1月雇用統計 (伯)12月小売売上高	18 12月毎月勤労統計・確(10:30) 12月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合(～19日) (米)1月輸入物価 (米)1月住宅着工件数 (米)1月建設許可件数 (米)1月鉱工業生産 (馬)12月製造業売上高	19 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)1月生産者物価 (米)1月景気先行指数 (米)2月フィラ連銀指数 ※(越)2月消費者物価	20 12月全産業活動指数(8:50) 2月金融経済月報(14:00) 1月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)1月消費者物価 (仏)1月消費者物価
23 ※1月チェーンストア販売統計(14:00) ※1月全国百貨店売上高(14:30) ※(独)2月消費者物価(速) ※(星)10-12月実質GDP (星)1月消費者物価 (台)1月商業販売額 (香)1月消費者物価 ※(馬)10-12月実質GDP	24 1月企業向けサービス価格指数(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(1月21,22日分)(8:50) 20年利付国債 (米)2月CB消費者信頼感指数 (米)12月住宅価格指数 (欧)12月経常収支 (独)2月Ifo景況感指数 (台)1月輸出受注 (台)1月鉱工業生産 (馬)金融政策委員会 (南ア)10-12月実質GDP	25 ※1月貿易統計(8:50) (米)1月中古住宅販売件数 (独)10-12月期実質GDP(確) ※(越)2月貿易統計 ※(越)2月小売売上高 (泰)10-12月実質GDP (泰)金融政策委員会 (香)10-12月実質GDP	26 2年利付国債 (米)1月新築住宅販売件数 (新)1月貿易統計 (星)1月鉱工業生産 (台)1月雇用統計	27 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月鉱工業指数(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 1月住宅着工統計(14:00) (米)10-12月期実質GDP(改) (米)2月シカゴPMI (米)2月シカン大消費者センチ(確) (欧)1月消費者物価 ※(独)2月消費者物価(速) (台)10-12月実質GDP

(※)印は期日が未定のもの

新興国の略称について：(韓)は韓国、(台)は台湾、(香)は香港、(星)はシンガポール、(尼)はインドネシア、(泰)はタイ、(馬)はマレーシア、(越)はベトナム、

(伯)はブラジル、(新)はニュージーランドをそれぞれ表します。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/2 ※1月毎月勤労統計(10:30) 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) (米)1月個人所得・消費 (米)2月ネット求人広告指数 (米)2月ISM製造業指数 (米)1月建設支出 (欧)2月消費者物価 (韓)2月貿易統計 (韓)2月消費者物価 (尼)2月消費者物価 (尼)1月貿易統計 (香)1月小売売上高	3 2月マナタリーベース(8:50) 1月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)1月中古住宅販売保留 (米)2月自動車販売 (欧)1月生産者物価 (豪)1月小売売上高 (豪)金融政策委員会	4 (米)2月ISM非製造業指数 (欧)1月小売売上高 (豪)10-12月実質GDP	5 10-12月期法人企業統計(8:50) 30年利付国債 (米)1月製造業受注 (欧)10-12月期実質GDP(改) (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (豪)1月貿易統計 (台)2月消費者物価 (比)金融政策委員会	6 (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
9 1月国際収支(8:50) 2月マナーストック(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー調査 (台)2月貿易統計	10 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 1月景気動向指数(14:00) (米)1月卸売在庫 (独)2月消費者物価(確) (仏)1月鉱工業生産 (中)2月貿易統計 (中)2月生産者物価	11 1月機械受注統計(8:50) 2月企業物価(8:50) (米)2月財政収支 (中)2月消費者物価	12 10-12月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)2月小売売上高 (米)1月企業在庫 (欧)1月鉱工業生産 (独)1月鉱工業生産 (仏)2月消費者物価 (中)2月小売売上高 (韓)金融政策委員会 (豪)2月雇用統計	13 2月投入・産出物価指数(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) 2月消費動向調査(14:00) (米)1月貿易収支 (米)2月輸入物価 (米)3月シカゴ大消費者センチ (速) (中)2月鉱工業生産 (新)1月小売売上高 (星)1月小売売上高 (香)10-12月鉱工業生産
16 ※1月毎月勤労統計・確(10:30) (米)3月NY連銀製造業指数 (米)1月対米証券投資 (米)2月鉱工業生産 (米)3月NAHB住宅市場指数 (欧)2月消費者物価 (中)2月固定資産投資	17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(～18日) 20年利付国債 (米)2月生産者物価 (米)2月住宅着工 (米)2月建設許可 (米)FOMC (香)2月雇用統計	18 1月景気動向指数改訂(14:00) ※2月全国百貨店売上高(14:30) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)2月消費者物価	19 3月ロイター短観(8:30) 1月全産業活動指数(8:50) 3月金融経済月報(14:00) (米)2月景気先行指数 (米)3月フィア連銀指数	20 (韓)10-12月実質GDP (香)2月消費者物価
23 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) 2月コンビニエンスストア統計(16:00) ※平成21年地価公示(16:50) ※3月月例経済報告 (米)2月中古住宅販売件数 (星)2月消費者物価 (台湾)3月雇用統計	24 10-12月期資金循環(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月18,19日分)(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) (米)1月住宅価格指数 ※(独)3月消費者物価(速) ※(独)3月Ifo景況感指数 (台)2月鉱工業生産	25 ※2月貿易統計(8:50) 2年利付国債 (米)2月新築住宅販売件数	26 2月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)10-12月期実質GDP(確) ※(越)3月小売売上高 ※(越)3月貿易統計 ※(馬)10-12月雇用統計 (香)2月貿易統計	27 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月商業販売統計(8:50) (米)2月個人所得・消費 (米)3月シカゴ大消費者センチ (確) ※(越)1-3月実質GDP ※(越)3月鉱工業生産 (新)10-12月実質GDP (新)2月貿易統計
30 2月鉱工業指数(8:50) (米)3月ネット求人広告指数	31 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (米)3月CB消費者信頼感指数 (欧)3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) ※2月毎月勤労統計(10:30) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) (米)3月ISM製造業指数 (米)2月中古住宅販売保留 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売 (中)3月PMI製造業 (韓)3月貿易統計 (韓)3月消費者物価 (尼)3月消費者物価 (尼)2月貿易統計 (伯)2月鉱工業生産 (伯)3月貿易統計	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マナタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)2月製造業受注 (欧)ECB理事会 (欧)2月生産者物価 (香)2月小売売上高	3 2月家計消費状況調査(14:00) (米)3月雇用統計 (米)3月ISM非製造業指数 (欧)2月小売売上高 ※(韓)2月小売売上高 (尼)金融政策委員会 (馬)2月貿易統計 (土)3月消費者物価

(※)印は期日が未定のもの

新興国の略称について：(韓)は韓国、(台)は台湾、(香)は香港、(星)はシンガポール、(尼)はインドネシア、(泰)はタイ、(馬)はマレーシア、(越)はベトナム、(伯)はブラジル、(新)はニュージーランドをそれぞれ表します。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。